

製品名	ウルトラフッ素 屋根用耐候性強化色
種別	ウルトララジカルコントロールフッ素樹脂塗料
荷姿	15kg
用途	一般屋根
適用基材	金属系屋根、窯業系屋根、アスファルトシングル、陶器瓦など

工程	材料	調合	所要量 / m <sup>2</sup> / 回 (施工面積)	施工器具	塗回数	間隔時間 (23°C)	可使時間 (23°C)
素地調整	①下地に付着しているゴミ・ホコリ・油脂類・異物は取り除いてください。 ②劣化した既存塗膜は、電動工具・手工具を用いてケレン除去してください。 ③塗装面周辺は、汚れや損傷を与えないように養生紙や養生テープ等で完全養生してください。						
下塗り	下地に応じた下塗り材をご使用ください。						
中塗り	セラベース[水性タイプ] (屋根用耐候性強化色)	15kg	0.12~0.16kg (93~125m <sup>2</sup> )	刷毛 中毛ローラー	1	4時間以上	—
	清水	0~5%					
上塗り	ウルトラフッ素 (屋根用耐候性強化色)	15kg	0.125~0.16kg (93~120m <sup>2</sup> )	ウルトラローラー	1	(2時間以上) ※最終養生24h	—
	清水	0~5%					

### 注意事項

- 塗料の使用期限は未開封の状態では水性製品6ヶ月、油性製品12ヶ月です。開封後はなるべく早めに使いきってください。
- 各種屋根材への適用下塗り材はお問い合わせください。
- 上記記載内容は標準的なものです。種々の条件により各々多少の誤差を生じる場合があります。
- 中塗りにセラベースを使用せず、ウルトラフッ素の2回塗りでも問題ありません。
- 施工環境が気温5℃以下の場合、湿度85%RH以上の場合、結露が発生する可能性がある場合は、外部の施工で降雨が予想される場合には施工を避けてください。仕上がりが不良、剥離などの不具合が発生し、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。
- 被塗物の表面温度が5℃以下の場合は塗装を避けてください。
- 常に結露が発生する地域、時期、場所での塗装は避けてください。
- 夜露の早く降りる地域や季節では早めに塗装を終えて、十分に乾燥時間を確保してください。
- 下地調整や水洗いが不十分だと剥離や光沢が出ない等、本来の塗膜性能を発揮できない恐れがあります。塗り替えでは必ず高圧洗浄やブラシ等を使い、付着物や劣化塗膜を十分に除去してください。
- 水洗い後は日数を空け十分に乾燥させてください。また塗装面が雨や霧等で濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。
- 塗装しない箇所は前もって塗料が付着しない様にしっかり養生してください。塗装箇所以外に塗料が付着した場合は直ちに拭き取ってください。
- 塗料使用の際は内容物が均一になるように十分に攪拌してください。
- 希釈は仕様の調合割合を守り十分に攪拌してください。調合割合を誤ると光沢や隠蔽性が悪くなります。
- 目地部が深い場合はハケなどで塗装してください。
- 工程間の間隔時間は仕様を厳守し、降雨後は下地や主剤の乾燥時間を確認してから塗装してください。
- 塗料は、冬期は屋内で、その他の季節は直射日光や雨に当たらず、また子供の手の届かない場所に保管し管理してください。
- 塗料や塗料の付いた布類及び使用済み容器等を廃棄する場合は、関連法規を厳守し、産業廃棄物として処分してください。(排水路、河川、下水、土壌を汚染する場所へ廃棄しないでください。)
- 材料は、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク・保護メガネ・保護手袋を着用してください。
- 塗装中・塗装後は十分換気を行ってください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし痛み又は外観に変化があるときには医師の診断を受けてください。
- 臭い・蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- ご使用の際は各商品の容器に記載されている注意事項をよく守ってください。又、詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご確認ください。